

## 会 議 要 録

名 称	豊橋市地球温暖化対策推進会議
開催日時	平成27年2月23日(月) 午後1時30分から午後3時
出席委員数	14人(委員数20人)
出席委員名	竹村浩一代理委員、畔上清孝委員、岩瀬啓子委員、植村幸司委員、岡井朗委員、 北田敏廣委員、小島清司委員、鈴木孝幸委員、鈴木拓也委員、山田佳弘委員 大須賀俊裕委員、竹花俊次代理委員、西郷敦司委員、村田安朗代理委員
欠席委員名	石川百代委員、川西裕康委員、後藤尚弘委員、坂井忠志委員 惣田里美委員、夏目典佳委員
オブザーバー	愛知県地球温暖化対策推進室 担当／牧原尚輝
事務局職氏名	温暖化対策推進室長／黒柳哲禎 主幹／岩瀬直司 主査／鈴木薫 担当／福井新悟
議 題	(1)地球温暖化対策に関する市民・事業者アンケートの結果について (2)豊橋市域の温室効果ガス排出量推計について (3)その他
議事の概要	<p>1. 開会</p> <p>2. 議題</p> <p>(1)地球温暖化対策に関する市民・事業者アンケートの結果について</p> <p>(2)豊橋市域の温室効果ガス排出量推計について</p> <p>(3)その他</p> <p>質疑応答(別紙のとおり)</p> <p>3. 閉会</p>

## 豊橋市地球温暖化対策推進会議 会議録

日 時：平成27年2月23日（月） 13時30分～15時

場 所：市役所西館 災害対策本部室

委員数：14人／20人

### ○委員長あいさつ

### ○議題

#### （1）地球温暖化対策に関する市民・事業者アンケートの結果について

（事務局から別紙資料に基づいて説明）

委員：集計結果から意欲のある方がたくさんみえることがわかりました。そういった方がまだ取り組んでいない部分について何がネックになっているのかという分析をして、もう少しやりやすくすることを考えたらいいと思います。

委員長：ごみの分別収集ですが、本巣市もプラスチックを発泡スチロールとそれ以外のものと、ペットボトルを分けています。できるだけ分別していますが、このあとどうなるのだろう？と良く分からないところがあります。そこで意欲が削がれます。分別する方としては、分別したものがこのあとどうなるのか、効果など分かる方が意欲が出てきます。豊橋市としては分別したものをどのようにされていますか？

事務局：プラスチックにつきましては、容器包装リサイクル法のルートにおいて、コークスの還元剤等に使用させていただいています。

委員長：分別したものが、その後どうなるということをみなさんの目に付くようにすることで、役に立っているという意欲が起こると

思います。

委員：市民アンケートの11ページに「ビンカンボックス」というのが書いてありますが、先日、廃止をすると聞きました。かなり矛盾を感じますが、このあたりの今後の対応はどうされますか？

事務局：ビンカンボックスができたのは、平成6年でかなりの年数が経っております。現在市内に2,000箇所あり、1つの箇所に複数基の設置がありますので合計3,000基となります。市民の利便性から24時間いつでも排出可能となっております。一方で、ビンカンボックスへの投入時や回収時の騒音の発生があること、またビンカンボックス自体がブラックボックスになってしまって、ルールを守って下さる方ばかりなら問題ないのですが、中には犬の散歩中の糞や、ごみ、動物の死骸が入っていることもあり、近隣の方に迷惑をかけている所もあります。また、年数経過による老朽化のため3,000基を更新するとなると費用が3億円位かかります。ビンカンボックスが設置してあることが逆に分別の意欲を削いでしまうため、この際、市民の方にしっかりした分別の意識をもって頂く。そのためにビンカンボックスを廃止しようとするのが市の方針になっています。対応としては、ビンカンボックスへの排出についてはまとめて排出する方が多いと思いますので、市民サービスへの影響が少ない方法としてステーション収集を考えていこうか、という状況です。

委員長：いろいろな問題があるということですね。

委員：昨年7月時点で、愛知県54市町村の中でレジ袋の有料化に取り組んでいないところが8市町村ありました。豊橋市も有料化の協定を結んでいない市の一つだと思います。レジ袋を辞退される方がどのくらいいらっしゃるのか、また協定により、レ

レジ袋が無駄に捨てられてごみになるのを防げるのではないかと  
思うのですが。レジ袋が有料であれば、買物の時にマイバック  
を持っていきます。レジ袋の有料化についてごみの問題を考え  
るなら地球温暖化対策の一つとして豊橋市の推進会議で進めて  
行って欲しいと思います。豊川市ではペットボトルと分別ボッ  
クスの回収日が週1回決まっております。ビンカンボックスの  
ように数が3,000基もないので余計な被害は少ないと思いま  
す。更新費用に3億円位かかるのなら、他の事に充ててもいい  
と思います。そういう予算の面からも考えてみれば、レジ袋  
の話も前に進むと思います。

事務局：豊橋市がレジ袋の有料化をしたのは、一昨年4月からです。  
愛知県では後ろから2番目であと1つだけ残っています。有料  
化については、530運動環境協議会と豊橋市と事業者で賛同  
いただけたところは3者協定を結んでおります。一方でコンビニ  
やドラッグストアなどはなかなかご協力いただけないところ  
があります。会社の方針としてレジ袋の無料化をお店のサービ  
スとして考えているので全てのお店となるとなかなか難しいで  
す。

委員：ドラッグストアの袋は他市は有料で、豊橋は無料ということ  
ですか？

事務局：豊橋だけではなくて、たいがいのところは無料だと思います。

委員：他の市でも生鮮食料品を買う時は有料で、ドラッグストアに行  
く時は、無料で袋をもらっているということですか？レジ袋を  
辞退するかどうかということもありますが、有料化を全国的に  
進めているのでしょうか？

事務局：コンビニで有料化するの是非常に難しいと思います。全国チェ  
ーンで1つの組織ですから会社の方針としてレジ袋を無料で配  
ることは顧客へのサービスだと考えておりますし、袋がないと

お客さんがお店に入ってくれないということもあるので有料化は難しいと思います。

委員：コンビニで1度にたくさん買う人は多くないと思いますが、どうしても必要なものを買うという利用の仕方ですし。でも利用する回数は多いですね。

事務局：袋はいりません。と意思表示できればいいのですが。

委員：何かキャンペーンはできませんか？

事務局：私ども環境部では折りたたみマイバックを常に持って市民の方へのPRをしています。また小中学生に意識を持ってもらおうとマイバックにデザインをしてコンクールなどをやっております。しかし意識をもってもらうことはなかなか難しいです。

委員：小学校は6年間ありますし、1・3・5年生、2・4・6年生といったように一斉に取り組めるといいですね。意識は子どもの頃に作られますので大事だと思います。

委員長：本巢みたいな小さな自治体では、ごみ処理費の中で大きな割合である収集費の負担が大きいです。その費用を稼ぐためにごみ袋を売っています。そのごみ袋で出さないと収集しないという状況なのですが、愛知県全体でもそうですか？

事務局：そういう方向に進めたいと思っています。ごみステーションの管理は各自治会にお願いしておりますが、収集しないようにしてしまうと夏場の悪臭や放置されたものをカラスが荒らしたりといったことがありますので最終的には収集せざるを得ないです。ただごみ分別などへの意識を持ってもらうことは必要で一步踏み込んで、市の方で袋を開けて中身を確認して排出元を特定して指導するということが一部やっています。豊川市や田原市はごみ袋の指定袋をやっております。今まで豊橋市は半透明袋ならレジ袋でも構わないとしてきました。それがかえってごみの分別の意識に結び付かなかつたと反省しております。県下

で一番最後になりましたが、来年度2月から指定袋にしていき  
たいと条例改正を予定しています。また、スーパーなどで段ボ  
ールが置いてあります。段ボールの中にごみを入れてステーシ  
ョンに出される方が増えています。段ボールは紙の資源ですの  
で、資源を焼却することはもったいない話です。レジ袋の有料  
化に伴い、ごみの分別を意識してもらい、リサイクルの推進へ  
つなげていきたいという考えです。

委員：事業者の取組み5ページですが、問5. 地球温暖化問題に対す  
る情報収集で、事業者の方が情報不足を感じていらっしゃる方  
が多いことにビックリしました。事業者間の情報共有も含めて、  
前回の会議などで事業者の情報の集約は難しいという話もある  
中で情報共有していくことが大事だと感じました。

委員：どういった情報が不足しているかと申しますと、事業者として  
どういう取組みをしたらいいかという具体的な情報が少ないで  
す。

委員長：ごみの分別につきましては、全て燃やしてしまっ  
てその熱を回収したり、発電したりすることが効率が良いと発言している専  
門家もいますが、どうしたらいいですかね？

事務局：リサイクルの部分ではサーマルリサイクル、マテリアルリサイ  
クル、ケミカルリサイクル、どれがいいのかという議論はあり  
ます。豊橋市ではごみを燃やすことで発電機を回し電気を作っ  
ていくというサーマルリサイクル、プラスチックについてはコ  
ークス還元剤に利用するなど状況に応じています。豊橋市の現  
状は、国の法律で定められているものと市独自でできるもの  
にあわせて、できることを進めて行くというかたちです。

事務局：生ごみも含めて燃やしていますが、焼却ごみの30%~40%  
が生ごみで家庭から出るものです。大震災以降、生ごみ、下  
水道汚泥も含め資源として、バイオマス処理をしていこうと事業

者決定をしたところであります。生ごみの分別も新たに始まるので生ごみも資源だと市民の方にアピールして政策を進めて行きたいと思っています。

委員長：役に立つということが分かると分別するほうもやる気が出てきますね。分別しても最後ごみになると思うと意欲がなくなるものですから。

## （２）豊橋市域の温室効果ガス排出量推計について

（事務局から別紙資料に基づいて説明）

委員長：質問・ご意見ございましたらお願いします。

委員：非エネルギー資源CO<sub>2</sub>の中身は何ですか？

事務局：石灰と粗鋼生産量です。粗鋼生産量自体が減って平成2年から減少傾向にあります。

委員長：資料2の表1で、代替フロン等4ガスですが、代替される前のガスは分解されずにフロンガスで残るものですよ？今までは分解されないものを使っていたことで温室効果ガスになっていたのですよね？ですから代替ガスだけでなく1990年以前の代替される前のものも含めて全体を見てみるのもいいかもしれません。また、先ほどの説明でメタンと亜酸化窒素が減っていますね。排出量の推計可能なものは確かに減っているのかもしれませんが、豊橋市以外で愛知県のどこかの会社が使っていて排出していれば、愛知県全体では増えている事になります。愛知県か名古屋市で毎年濃度を計っていると思いますが、二酸化炭素と一緒に増えていたと思います。排出量推計の立場からいくと算定対象から漏れているものがないかと考えます。豊橋からは出ていなくても、全体排出量が増えているということであ

れば遠くから流れてくるものもありますので、豊橋の責任ではないかと思いますが。そういう全体量などはどう考えますか？

事務局：国全体で申しますと、非エネルギー起源は、1990年95.3%から2012年82.8%という数字です。2013年度排出量の速報で、確定の方が今年の4月に出ると思いますが、国レベルの全体で言いますと1990年との比較で10.6%増となります。御承知のとおり、火力発電の増加などがあります。

委員：参考資料①の確認をしてもいいですか？1990年に対する推計量がやり直すとだいぶ違っていたということで、CO<sub>2</sub>で360万トン。前回の推計だと285.7万トンだったということですね。さらに今回実績で2012年の推計が追加されたということですね。計画に定めている目標から2020年までに25%削減しようとする360万トンという今回の推計からすると270万トンになるのですね。日本政府は原発がほとんどなくなるという状況の中で新目標として2005年排出量から3.8%減を暫定目標としました。それをあてはめると373万トンまで減らせばよい。豊橋市の目標をどうするかはこれから検討していくことですね？

事務局：はい。

委員：表に戻りますが、家庭部門対基準年度で45.2%ということは、平成2年から平成24年度の一人当たりの量はどうなりますか？人口は増えているのでしょうか？

事務局：人口は、平成2年より24年の方が増えています。要因は核家族化が進み世帯数が増えていること、また世帯当たりの電気使用量も増えている。ということです。

委員長：これが推計の現状ですが、何か質問等ありませんか？

委員：人間が1年間に排出するCO<sub>2</sub>の量は何トンですか？



事務局：人間が1年間に排出する量は資料を持ち合わせていません。確認させていただきます。

委員長：人間が固定する炭素量を食物から計算できるかもしれませんね。人口が増えているということは、人間の体を形作っている炭素が増えているということなので、CO<sub>2</sub>も増えるかもしれませんね。国の新目標など現状としてはこういう状況で、市としては新しい目標をどうするか、目標値の変更も視野に入れているという事ですね。

事務局：はい。

委員長：(1)(2)合わせて何か質問や意見はありませんか？

委員：確認ですが、来年の2月から豊橋市は専用ゴミ袋を販売し、決められたゴミ袋で出してもらうということですか？

事務局：今でも半透明なものをお店で買って使用していただいています。市のごみ袋を指定して業者に裁量で売ってもらうこととなります。売上について市の収入にはなりません。市の収入になるということであればごみの有料化ということになりますが、それは最終段階です。

委員：小さい市町ではゴミ袋を指定しているので、捨てる側もお金がかかるので分別し、ごみを減らそうと思える。分別によって資源は資源で回収できると思いました。

委員：昔、ペットボトルから再生された生地で白いジャンパーを作っていたと思います。例えば、ペットボトルを100本出した方にエコバックを差し上げるとか主婦的な感覚でお得感があることはできませんかね？大多数の方は得をしたいと思います。女性の視線にたってもらえるといいと思います。

委員：具体的にニューヨークで行われているのは、生ごみを持っていくと肥料に変えてくれて市民農園や簡単な野菜やハーブ園などに使われています。集合住宅ではベランダ菜園でもいいと思ひ

ます。簡単に育てられる野菜と肥料をセットにして、生ごみをどれだけ持って行ったら、どれくらいの肥料に変わるのか、そして何を育てることができるのかを伝えて行き、育てるかわいさを楽しめる事もいいと思います。大きな施設だけがごみ減量を行うのではなくて、一人一人が相手のことも考えながら相手に迷惑をかけないように自分が楽しめるものを提供したらいいと思います。生ごみを肥料に変える機械などあると思いますが、実施率はどれくらいで、市からどれだけの援助をして、どれだけ設置して、有効性はどれくらいなのか？継続されているのかどうかを知りたいです。

事務局：本日は資料を持ち合わせていませんが、それらのことを踏まえ後日お知らせしたいと思います。

委員長：他にありませんか。また何かありあしたら、会議が終わってからもぜひ事務局の方へお伝えください。